

会報 つながる

堺西地区保護司会

〒593-8324
堺市西区鳳東町4-390-1
泉北府民センター3階
TEL072-274-6400
FAX072-274-6410

E-mail
nishihogoshi@etude.ocn.ne.jp

発行責任者 楠 玲子
印刷 山口印刷株式会社



第68回

社会を明るくする運動
作文コンテスト

更生保護女性会会長賞

「相手の気持ちを考えて」

堺市立家原寺小学校 六年

茂山 えり

私は学校の音楽の授業が大好きです。いろいろな歌を歌ったり、合奏する時間は、とても楽しいです。

そんなある日、音楽の授業で合奏の練習をしているときのことでした。私のチーム

のなかには、自分からすすんで練習をしよ
うとしないある男の子がいます。そこで私
は、「ちゃんと練習しないと、本番できひ
んで。かんたんな楽譜にかえてあげるから
やってみたら。それとも他の楽器にかえ
る？」と言ってみました。しかし、彼は話
を聞こうとしてくれません。何度かくり返
し言ってみると彼は「はつきり言って、お
れいらんやろ。」と言いました。いいわ
けのように聞こえたので、私はすごく腹が
立ちました。すると、ある女の子が言いま
した。「いややったらやめたら。やらんか
ったらいいやん。だれかかわりつくるから。」
彼はだまりこんでしまいました。私は、
ドキッとしました。そして

「そんなこと言ったらほんまに必要な
人みたいやん。」と言おうとしましたが言
えませんでした。チームはいやなふんいき
になりました。

音楽の授業が終わったあとで「どつちが
悪かったんだろう?」「私が悪かったのか
な?」「あの女の子に注意すればよかった。」
と何度も思いました。でも、私がこんなこ
とを思ったとしても、もうおそいんだと思
いました。一度言ってしまったことは、言
わなかったことにできないと思うと、次の
音楽の授業がくるのがとてもおそろしく感
じました。

次の音楽の授業のとき、私たちのチーム
はまるでバラバラでした。彼は、やっぱり
楽器を演奏しようとしてくれませんでした。
彼はまた言ったのです。

「おれ、必要ないでしょ。」と。

このことから私が学んだことは、人に言
う言葉を考えて使わなければならないとい
うことです。私もし彼だとすれば、きつ

と傷ついたと思います。たとえ自分が言い
だしたことだとしても、人から自分が必要
のない人間だと言われることは、すごくつ
らいです。だから彼は、もともとあまりや
りたくなかったチームの練習が、きつとま
すますいやになってしまったのだと思いま
す。いやな言葉を使うと、相手からいや
な言葉が返ってきて、またいやな言葉を使
ってしまおうという、悪いことのくり返しに
なってしまいます。すると周りのふんいき
も、どんどんないやなふんいきになってい
てしまいます。

私もそのとき、ちゃんと彼に「必要な
人なんておらんで。みんな必要やで。だ
からいっしょに練習しようよ。」と言え
ばよかったと思います。

今、彼は先生といっしょに合奏の練習を
しています。練習にはげんでいます。あれ
以来、おたがいいや言葉は使わず、チ
ームのふんいきも少しずつよくなってきま
した。

私は、今まで人に対していやな言葉を言
ったことは、何度もあります。そのとき
「あつ。言ってしまった。」と思うばかり
で、なかなかやめることができません。で
も、今回のできごとで、おたがいいや言
葉は使いたくないなと思えました。言葉を
変えることにより、相手の言葉も変わり、
その結果まわりのふんいき、全体が大きく
変わることにあります。

次の音楽の授業では、彼とうまく話して
いっしょに練習し、彼の音を加えたすてき
な合奏をしたのです。

社会を明るくするためには、相手の気持
ちを考えて発言することも大切なことの
一つだと思います。

つながる力



堺市立上野芝中学校

校長 四宮 武治

日頃より、保護司会、更生保護女性会の皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございます。また、地域の主任児童委員、民生委員、人権擁護委員の方々から子どもや家庭に関する様々なことでご支援をいただいておりますことに感謝いたします。

さて、本校は生徒につけたい力として「関わる力」「感じとる力」「判断する力」「伝える力」を掲げています。貴会報の「つながる」というタイトルを拝見して、同じ思いであるという温かい気持ちになりました。

人は他者との関わりやつながりの中でこそ、幸せを感じることが出来ます。他人の温かい心に触れたとき、愛されると感じたとき、認められたとき、自然とところが膨らみ、自己肯定感を抱きます。

あるガソリンスタンドのコマーシャルで「ここも満タンに♪」という言葉が流れます。人も車と同じようにガ

ソリン（こころ）が満たされなければ、動けません。夢や目標に向って前へ進もうとしません。

今、子どもたちを取り巻く環境は、目まぐるしく変化しています。小学生からスマートフォンを持ち、友だちとの遊びは個々がゲーム機で遊んでいる。そして、SNS等での文字だけの希薄なつながりの中で人間関係におびえている。他者と生身のつながりや関わりが上手にできなくなっている。今こそ、私たち大人がしっかりと関わり、つながることでところがふくらむ子どもたちは多いはずですよ。

以前に、マザー・テレサを主題にした公共広告で「すべての人が幸せになる。これを邪魔している最大の敵は、隣人への無関心ではないでしょうか」という言葉がありました。まさに人と人がつながることこそが人類が閉じられた地球という空間で生きのびる唯一の方法だと言っているように思えてなりません。



大阪更生保護女性連盟第5ブロック研修会

令和元年9月6日 忠岡ふれあいホールにて、第5ブロック研修会が開催され、今回は堺がモデル地区となり、

「ひろめよう つづけよう つなげよう 更生保護の「わ」

くあたたかな人間愛をもって明るい社会をの活動テーマで発表致しました。



第5ブロック研修会で、他の地区の方々の意見などを聞いてみると、堺地区の大きさを実感しました。仲庵でのお茶会、堺まつり、矯正展のバザーなどです。

福泉 南 恵子

第5ブロック大会に参加して、堺は各部会が、施設見学や支援をする中で、目には見えなくても社会と繋がっていると感じました。

福泉上 河合 道子

仲庵の茶会において、ひろめる、続ける、つなげる「わ」を色々な活動の中で慈愛を持ち、よりいっそう人とのつながりを大切にしたいです。

浜寺昭和 山中 敏子



「社会を明るくする運動」 強調月間を終えて



酷暑の夏でしたが、本年も各機関・団体のご協力と保護司会の活躍で、啓発活動を展開いたしました。

- 1、街頭啓発
7/3 石津川駅前、7/4 津久野駅前、7/5 鳳駅前
(7/3 は台風接近で中止)
- 2、「会報つながる」13号の発行・配布
西区全自治会へ回覧
- 3、西区小中学生の作文コンクールに全20校参加
- 4、夏休み親子茶会 7/20 南宗寺にて
- 5、合同研修会開催(4面掲載) 8/29 など、西区独自の取り組みをいたしました。



夏休み親子茶会に参加して

堺市立浜寺南中学校
三年 飯ヶ谷 陽希

私が南宗寺に行つて感じたことは、二つあります。一つ目は、気持ち落ち着けて自分を見つめ直すことの大切さです。私が座禅を組ませてもらったとき、集中していたからなのか、体が「無」の状態になつたような気がしました。この「無」の状態になることで、自分をリセットすることができました。二つ目は、茶の湯の精神を体感できたことです。私は何度か茶会に参加したことがあったのですが、その時は、あまり関心を持つことができませんでした。しかし、動作の一つ一つに相手への気遣いが込められていることが分かり、新たな発見ができたとても新鮮な体験でした。




街頭啓発活動 (JR鳳駅 JR津久野駅)



竹田功勝氏・木村允彦氏・小倉孝雄氏 法務大臣表彰受ける

上野芝中学校区 竹田功勝氏・津久野中学校区 木村允彦氏・鳳中学校区 小倉孝雄氏は、令和元年度法務大臣表彰を顕彰され、令和元年十月に東京都内のホテルで表彰式がありました。

竹田氏は平成九年九月、木村氏は平成十二年九月、小倉氏は平成十六年五月に委嘱されて以来長年犯罪や非行を犯した人たちに寄り添い立ち直りにご尽力されてきました。心よりお祝い申し上げます。



鳳中学校区
小倉孝雄氏



津久野中学校区
木村允彦氏



上野芝中学校区
竹田功勝氏



9月19日、第2期地域別定例研修実施、26人参加。

テーマは「良好・不良措置」



まず講師の永井主任官より良好措置・不良措置の号種別に検討時期や名称や効果、そして処分庁によって異なる時期や軽重の根拠などが講義されました。事例を判断する簡単なテストのあと3グループに分かれて討論しました。担当すれば必ず良好・不良措置の判断する時がやってきます。皆さん体験があるだけに活発に発言され、先輩から後輩へのスキルの継承の場ともなっており、とっても良い研修会でした。

また付録ですが、社明月間以来久しぶりに顔をあわす場にもなり、保護司同士の活発なコミュニケーションが交わされ、楽しいひと時でもありました。残念なのは参加者が多くなかったことでした。

中学校・更生保護女性会との合同研修会



「社会を明るくする運動」の今年度の最終取り組みとして、8月29日西文化会館セミナールームにて開催。講師は大阪府堺少年サポートセンターの府警本部 警部補西川節雄氏。テーマは「府下の少年非行の現状とその対策・堺少年サポートセンターの役割」でした。

大阪府下の非行事案の減少や低年齢化などの現状と今後の懸念について、また保護観察などの受皿を持たない少年たちとの係わりを、警察官として海外勤務などの豊富な経験をお持ちの西川氏に、補導の様子がわかるビデオを交えてお話いただきました。永井主任官にもお越しいただき、保護司31名を含む59名の参加がありました。



サポートセンターが 広くなりました

隣の部屋が空いた事からサポートセンターの事務所が8月より1.5倍の65㎡となり広くなりました。空調が効き難かったり円卓で会議をするのが通れず動き難かったりしましたが、広がった事で快適に会議も出来るようになりました。今後は我々だけでなく、地域の皆さんや団体にも開放し、気軽に活用してもらいたいと考えています。場所は、西堺警察隣り泉北府民センター3階のとても便利なアクセスとなっております。



電話で申し出下さい。

私のワンショット

晩秋の高野山「蛇腹道」夕日に映える紅葉に心打たれてシャッターを切りました。

※1面に掲載

Y・T